

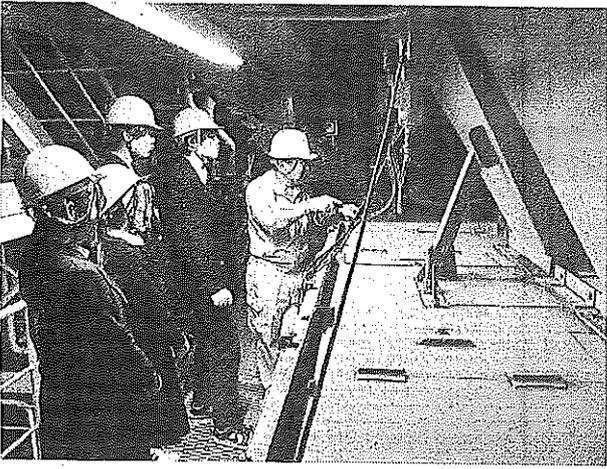
# インターン受け入れ

晴海小野田 生コンを体験

晴海小野田レミコン（東京都江東区、堀川和夫社長）は2月5、6の両日、都立第三商業高校（同区）の2年生9人のインターンシップを受け入れた。毎年行っているもので、同社には同校の卒業生も複数入社している。生徒たちは1日目は

生コンに関して一般的な講義で学んでから、主要な設備について説明を受け、生コンの製造、出荷の全体像を確認した。その後、工場を見学した。骨材サイロやミキサなどを見て「設備も機械も想像以上に大きかった」と驚いていた。

2日目はスランパや圧縮強度試験などを体験し実際に生コンに触れた。生徒からは「スランパ試験が面白かった」「圧縮強度試験が楽しかった」「生コンの種類が多いことにびっくりした」「でき上がるまでの工程が多く、大変そう」「貴重な体験ができた」などの感想が聞かれた。



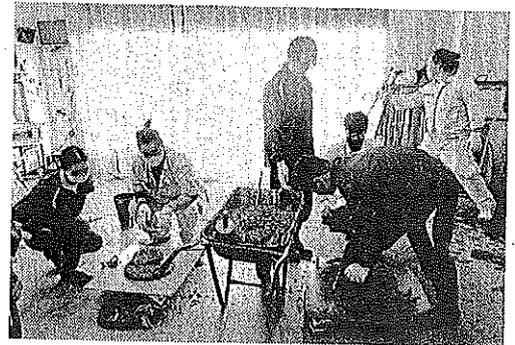
生徒らは工場を見学し設備の大きさを体感

コンクリート新聞(2026.2.19)

## 晴海小野田レミコン 地元高校からインターン 試験、製造を体験

晴海小野田レミコン（東京都江東区、堀川和夫社長）は5日と6日、東京都立第三商業高等学校（東京都江東区）からおり、今回は2年生9人

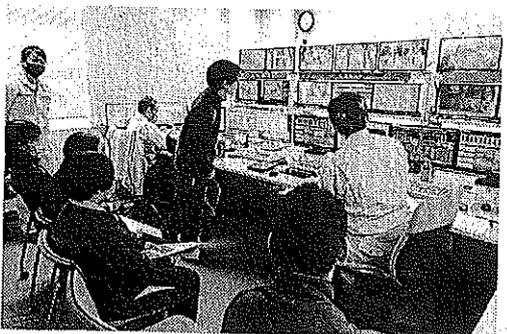
が参加した。初日の5日は自己紹介を含めたオリエンテーションからスタート。同社の藤山修常務取締役工場長、古谷彰取締役業務部長が同社の会社概要やコンクリートの概要を説明した。続いて諏訪一広取締役専務も立ち合い設備メンテナンスを含めた工場見学を実施。またミキサー車の見学・乗車体験を行った。



スランパ試験の様子

6日は生コン実習の概要説明のち、2班に分かれて品質管理と製造の実習を行った。品質管理はスランパ試験などの生コンの代表的な試験を体験。製造はオペレータ室で生コンの製造・出荷業務を体験した。その後は圧縮強度試験の体験を実施。最後に実習の振り返りを行った。

古谷取締役業務部長は「同校からは定期的にイ



オペレータ室で熱心に見学

セメント新聞(2026.2.23)